

浅草・浅草寺のお線香

浅草の浅草寺に行くと、お線香の煙をみんなが手ですくって身体にあてています。

「これは煙が身体によいので、身体の悪い部分にあてると病気が治るといふ民間信仰です。頭痛がする場合には頭にあてます。腰痛の人は腰の部分にあてます。膝が悪い人は膝にあてます。しかし喉痛の人はノドにあてるともっと喉が痛くなります。私はちょっとあてるところが違います」「どこ？」

「私のこのお財布にあてます。お財布がちょっと病気なもので」

(2009年8月)

Au temple Senso-ji du quartier Asakusa de Tokyo, devant le hall central, il y a toujours des Japonais qui mettent la fumée de l'encens sur leurs corps.

Guide Tomo: «D'après la croyance populaire, la fumée marche bien pour guérir la partie malade de votre corps. Si vous avez mal à la tête, vous pouvez mettre la fumée sur votre tête. Si vous avez mal au dos, vous pouvez mettre la fumée sur votre dos. Si vous avez mal aux genoux vous pouvez mettre la fumée sur vos genoux. Si vous avez mal à la gorge, mettre la fumée sur votre gorge pourrait aggraver votre mal à la gorge. ...Moi, je mets la fumée ailleurs. »

Touriste français: «Où est-ce donc? »

Guide Tomo: (en désignant son sac) «Sur mon portefeuille. Il est un peu malade. »

鹿児島のお芋焼酎

鹿児島に芋焼酎の蔵を見学に行きました。いちき串木野市の濱田屋伝兵衛という蔵です。木樽の蒸留器からろりと甕に原酒が流れ出ていました。もちろん試飲オーケーです。近くには昔の金鉱(串木野金山)の坑道を熟成・貯蔵に使う「金山蔵」もあって楽しかったです。買った焼

酎を金山蔵に預けて5年後に取りに来る。ロマンがありますね。

(2006年12月27日)

六本木のディスコ

暮れも押しつまった30日に、「六本木のナイトスポットはいいところある?」というリクエスト。

レキシントン・クイーンは改装中で休業。マハラジャ、キング&クイーンも改装中で休業[その後再開]。ヴェルファーレは12月31日で閉店、とのこと。六本木はディスコ砂漠になったみたいです。

(2006年12月30日)

しま そうそう、六本木といえば、一月ほど前、外国人に日本的な接待をする仕事に就いて、六本木のクラブに行く機会がありました。前日に連れて行ったクラブでは、ホステスさんの半数は何もしゃべらずに、ただお酒を注ぐだけだったので、この六本木のクラブには事前に電話を入れて、「英語は片言でもいいですから、とにかくフランス人に興味を持って、英語の単語を一つでも二つでも口に出して、積極的に話しかけるタイプのホステスさんを用意しておいてください」とお願いしておいたところ、まさにその通りの手配がされていて、その夜は雰囲気ぐんと盛り上がりました。めったに行くことはないけれど、クラブに連れて行く時の小さなノウハウの一つ、実践から学んだ気分です。

東京の高層ビル

2007年3月には六本木に東京ミッドタウンがオープンします。またビルの高さの順番が変わってややこしいことです。まとめてみました。

Gratte-ciels du Japon

- 1) Yokohama Landmark Tower, Yokohama (1993), 296m., 70 étages
横浜ランドマークタワー
- 2) Rinku Gate Tower Building, Osaka (1996), 256m.

りんくうゲートタワービル

- 3) Osaka WTC (World Trade Center) Building (1995), 256m., 55 étages
大阪ワールドトレードセンタービル
- 4) Midtown Tower, Tokyo Midtown (mars 2007) 248m., 54 étages
ミッドタウン・タワー (東京ミッドタウン)
- 5) Midland Square, Nagoya, 247m.
ミッドランドスクエア
- 6) JR Central Towers, Nagoya, 245m.
JRセントラルタワーズ
- 7) Mairie de Tokyo (1991), 243m., 48 étages
東京都庁舎
- 8) NTT Docomo (2000), 240m., 27 étages
NTTドコモ代々木ビル
- 9) Sunshine 60 (1978), 239,7m., 60 étages
サンシャイン60
- 10) Roppongi Hills Mori Tower (2003), 238m., 54 étages
六本木ヒルズ森タワー
フランスでいちばん高いのは
Tour Maine-Montparnasse (1972), Paris, 210 m.
でしょうか。

(2007年1月4日)

芸者と遊女

新潮文庫で『お江戸吉原ものしり帖』(北村鯉彦著)を読みました。ガイドで京都に行くと芸妓(げいこ)&舞妓さん(他の土地では芸者と呼ぶ)のことをかならず聞かれます。では吉原の遊女とはどう違うの? という難しい。簡単に言うと芸を売るか、春を売るか、ということでしょうか。他にも着物が違うとかいろいろあると思います。でもこの本を読むと吉原に芸者がいたと書いてある。また、金沢に行くと、ここもお茶屋街なのだけれど、芸者にもいろいろランクがあったらしく、表通りが芸者、裏通りでは春をひさぐ女性たちが多かったそうです。

「花街＝芸妓・芸者、遊郭＝娼妓・遊女」という図式でいちおういいと思うけど、この二つの集合が重なっている部分もあるということでしょうか。あと、三業地というのも、もとは花街と思うのですが、吉原の仕組みも似たような感じだし、現在は単なる繁華街の意味で使われているかもしれません。(2007年1月26日)

那覇26度 写真

3日前に呼ばれてクルーズ船那覇1日観光のガイドへ。もう死語となった(アニメの『ハクション大魔王』の)「呼ばれて飛び出てじゃじゃじゃじゃーん」というセリフがびったり。準備もあらばこそ、押っ取り刀で駆けつけ前日午後「識名園」だけ下見。バス11台が船の前に勢揃いした朝は、ちょっと武者震い。小生11台口の11号車、ま、足軽って感じかな。でも沖縄は歌だ～と思って「島唄」のCDだけテープに落としていってバスの中で流したら気分がでた。国際通りからの帰路、僕はいつも通り「上を向いて歩こう」歌って、沖縄バスのガイド真由美さんが沖縄民謡と「涙そうそう」と2曲歌って盛り上がりました。前夜、豆腐ようと泡盛でエネルギー補給したのがよかったかも。歌うガイドを目指すTomoガイドでした～。

午後は平和記念公園に行ったけど、戦争の話は難しいですね。「わしもインドシナで日本兵を少々やっつけたんじゃよ」、と言うおじいさんがいて、返す言葉が見つかりませんでした。だとすると85歳は超えてるよね。それにもビックリ。(2007年2月19日)

クルーズ船 写真



那覇から大阪、横浜へ。港から港へと船を追いかけてのガイディングも、ようやく横浜港大棧橋までたどり着き、ぼくのポジションは終盤戦になってきました。恐怖の11台口で、しまさんほか先輩方の足を引っ張らぬようがんばっております。台数口の場合、特に観光して回るスポットについては、ほかのバスと違うことをやっ

たらいけないので、気を使います。船は同じだけど、毎回バスの号車が変わってお客さまも変わるし、エスコート(添乗員ですね、フランス側の)も変わるし、行くところもバス会社も変わる。このお客さまがたは前の日にどういう話を聞いてきたのかな～なんて考えると、いやでも応でも比較されてしまっているわけであらう。ま、夜の部だけはしっかりやっていると、毎日地元の居酒屋などに行ってます。今日は日曜日であまりレストランやってなかったけど、馬車道の中華料理店へ。明日は箱根観光です。(2007年2月25日)

しま 今日は馬車道の周富徳さんのお店「生香園」に連れて行ってくださりありがとうございます。水中花のようなティーは楽しめましたね。

Tomo しまさんたちとガイドをやっている客船プリンセス・ダナエは横浜・大棧橋に停泊中。今日28日の20時に神戸港に向けて出港です。船の様子がさっそく横浜港のサイトにアップされていました。

奈良の夜・呑み処

奈良の呑み屋をご紹介します。奈良は平城京遷都1300年に向けて着々と準備中。

奈良は京都や大阪に泊まって日帰りすることが多いんですが、これから奈良宿泊の旅も増えてくると思います。でも、よそ者には夜のスポットがよくわからないんですね。それだけにこの3軒おススメですよ。すべて「ならまち」の中です。

1.「まんぎょく」元林院町9番地 0722-22-2265 18時～23時
月曜休

現代日本を代表する洋画家、絹谷幸二氏のご実家。昔は芸者の置屋さんだった。このあたりは昔の花街で、すぐそばには歌舞練場もある。町屋の雰囲気が高く料理が美味しい。猿沢池天平ホテルの角から南に下って左側。

2)「酒肆(しゅし)春鹿」今御門町27-4 0742-26-4703 17時～21時半 日曜休

奈良の銘酒、「春鹿」に惹かれて人々が集う居酒屋。湯葉で巻いた海老サラダなど、料理はていねい。懐石コースもあり。もちろん超辛口春

鹿も。猿沢池の南、魚佐旅館を左に見て南に下り右に行って左に折れる。ちょっと奥まったところにある感じ。

3)「酒処 蔵(さけどころ・くら)」 光明院町16番地 0472-22-8771 17時～22時半 木曜休

有名呉服店の蔵を改装した店。おでんと、鳥の肝焼きが美味しい。庶民的な雰囲気でも盛り上がっている感じで、地元民の生の奈良弁が聞ける。お値段はここが安いのかも。肝焼きはめちゃくちゃ量が多いので要注意。「入り口が2つありますが、左側のおでんカウンターがよさそうです」と勧められて行ったがいっぱいで、私は右側に入りました。ならまちセンターの前から真っ直ぐ西に進んで右側。

以上、ならまちに住んでいた知人に教えてもらったお店です。

一つだけ行くとするなら1) かな。個人ツアーのお客さまを案内するにもよさそうだし。私は昨年秋、1)～3)の順に3軒ハシゴしたらベロベロになってしまいました。だんだん場所がわかりにくくなった気がしたのは酔いのせいかも(笑)。今度行くなら2)～1)か、仲間とワイワイ3)ですかね。春の宵、ほろ酔い加減でならまち散策、いいですね。

ならまちは昼もよいとこいっぱいです。奈良町資料館とかならまち格子の家とか。町屋がさりげなくFM放送局のスタジオになっていたり。あと、お昼は奈良漬けの老舗がやっている「あしびの郷」がオススメ。蔵の中で食べているような感じがなんともいえないです。

書いていたらホントまた行きたくなくなってきました。バスでの観光ではいつも東大寺と春日大社と興福寺(とあと法隆寺)だけなので、ならまちは穴場ですね。(2007年3月1日)

Tomo 「酒処 蔵」は『鹿男あをによし』のロケでも使われたとのこと。あー、あその場面か。行った時の賑わいとあまりにも落差があったので、テレビを見ても気がつきませんでした。(2009年8月)

桜開花情報

生来の宴会好きなので花見は大好き。でもここ何年か花見宴会してないな～。

東京の今年の開花予想は3月20日。今年は鹿児島や大阪より早くなっ

ちゃってます。ふだんは南から桜前線北上なのにね。温暖化現象の影響なのでしょうか。ガイドの時にはちょっと話したいネタですね。

私が天気予報やさくら情報を見るサイトは「tenki.jp」。日本気象協会が力を入れてるっていうのがよさそう。それと「ウェザーニューズ」。やっぱりこのような専門サイトがいいですね、詳しくて。それから桜豆知識はOCNトラベルのページが充実しています。

満開は開花宣言から約1週間くらいだから(気温による)、24日から来るタヒチのグループは大当たりになりそう。バスでどこを通ってみるかな～と考えるだけで思わずニコニコしてきちゃいますね。

開花宣言前でも大丈夫。新宿御苑ではカンヒザクラが咲いたそうです。

桜は満開の見頃になった後、2、3日するともう散っていることも。

«La vie est éphémère.»(人生ははかない)ですね、と言うとフランス人たちも納得。「Carpe Diem」というラテン語を昔お客さまに教えていただいたので、そう付け加えることにしています。(2007年3月11日)

救急車で入院

昨日午前成田着でスタートした43人のツアー。昨晚、女性のお客さまが救急車で緊急入院されました。

今朝の集合(9時)前、ほかのお客さまの話で入院された方がいるということ把握。確認にフロントに行こうとしたところご主人にロビーで会い、これから病院に再び向かうということだったので超緊急ではないと判断、入院先をお聞きし、電車(&タクシー)での行き方をお教えし、私の携帯電話番号をお渡しし、ツアー本隊をスタートさせた次第。

観光は、明治神宮・八芳園・原宿・秋葉原で18時帰着。

ホテルにてオプションツアー申込みのお手伝いをした後、19時ごろ、フロントで入院時の様子を聞きました。昨晚吐血を3回されて、19時53分に救急車を呼んで入院されたとのこと。昨日の昼、銀座のレストランGで、具合が悪いとおっしゃられ、トイレにご案内した方でした。Gでは何も召し上がっていらっしゃいませんでした。

その後、入院先の国立Kセンターに電話。3F集中治療室(ICU)にて治療中ということ把握。病状についてはご親族以外には話せないとのこと。付き添っているご主人にはお目にかかることができるということで、

病院に向かいましたが、19時40分ころ山手線S駅からタクシーに乗ったところで、病院から電話があり、ご主人は「今日は疲れていてホテルに戻るので来なくても大丈夫」とおっしゃっているとので、引き返しました。ご主人は英語が少し話せるので、英語でコミュニケーションできているらしいです。

心配ですね。外国で病院に行くのは心細いものです。

(2007年3月13日)

Tomo 昨日、本隊グループは帰国でした。入院した女性のご主人もとりあえず帰国されました。入院中のお客さまはそのまま、まだ1週間くらいはかかりそうとのこと。保険会社がしっかりしていて、通訳の手配とかいろいろサポートしているみたいです。やっぱり保険は大事ですね。ホント。飛行機の座席はファーストクラスにアップグレードなどは比較的簡単にできるけど、エコノミーを3席とって横に寝て、点滴をしながらとなると、医師の同乗が必要になったりと、たいへんそうですね(航空会社によって規定が違う)。治療の費用プラス、席も医師も含めてだから4席分かってしまいます。酸素吸入のための酸素ボンベ持ち込みとなると、さらに厳しくなる。それだったらある程度容体が安定してからファーストで帰るほうを選択、ということになったようです。あるいはそういう危険な状態なら移動せずICUで治療を続けるべし、ということなんでしょう。

(3月20日)

Tomo 病気のお客さまは、本隊帰国の1週間後に、帰られました。保険会社より5席の予約があったとのこと。ストレッチャーで酸素呼吸付きということですね。通訳もきちんと呼んで、しっかりとした保険会社のようにでした。

(4月5日)

巡業たけなわ

タヒチ人の方々のツアーで、今日は東京3日間と箱根・成田の谷間の自由日です。ディズニーシーがものすごく混んでいました。新しいアトラクションなんか3時間待ちだったって。でもぼくは歯が痛くなって、ディズニーシーにお客さまを入れてとんぼ帰りして大久保の歯医者に直行。

目も真っ赤に充血して、今日は目医者に行きました。足も全快してないし、満身創痍で爆弾抱えてやっているみたいです(笑)。

土曜に彼らを成田に送った後、日曜からフランス人超金持ちマダム3人組を3日間。日光・東京・富士箱根です。15日間全日ガイド&車つき、ホテルは超一流、こんなお客さまもいるんですね。

ツアー費用はひとり500万円くらい、4人で2,000万円くらいのです。いま考えているのは、少しいい洋服を着て靴も革靴にしようかな、なんて、自分の服装のこと。それから小さい声でしゃべらないと。フランス人の上流の人はだいたい小さい声で話すから……。

(2007年3月28日)

金持ちマダムご一行

金持ちマダムご一行は、リール Lille 出身の姉妹お二人。ご主人はフランスでホテルを何軒か経営してらっしゃるとか。このお二人に上海でデザイナーをしている美人のお孫さんも合流。昨日はセダンで日光に行ってきました。天気がよかったので気持ちよかったです。寺院オタクのような方でご自分で解説されたりしていて、こちらの手間が省けました(笑)。華厳滝(けごんのたき)まで行って「たいしたことないわね。早く東照宮に行きましょう」とおっしゃるので竜頭の滝はパス。えーっ、ここまで来たのって感じですが。でもガイドは押し売りしたらだめですね。

昼食はいろいろ考えた末に「膝が痛いので畳に座るところはダメ」というのが決め手となって結局、定番の日光金谷ホテルの和食。エージェントからは支払いはお客さまと聞いていたのに伝票をお渡ししたら「含まれているはずよ」。こういうのはガイドの現場としては困るんですね~!

あとから解決しても何となく雰囲気盛り上げる要因を作ってしまうから。

ご宿泊は超高級、夕留のCホテルです。姉妹はお二人とも膝が悪く、車椅子をご用意してもおかしくないくらい。たくさん階段はまず無理。公共交通機関利用となっていた今日の東京観光にも、急ぎょ7シーターのボックスカーを手配してもらいました。

今日の東京観光にはもう1人のお孫さんの女性も合流で、計4人。ご希望がいろいろあって築地・浅草・上野アメ横・表参道・明治神宮の予